

少年消防クラブ員の 愛知県消防学校一日入校体験



消防学校一日入校を

体験して



奥田小学校
後藤 瑛太さん

ぼくは八月八日に県消防学校一日入校に行ってきました。消防学校は小学校よりも広い所で、消防士になった人が勉強する場所だそうです。ぼくはそこで、いろいろな体験をしました。特に印象に残った体験をいくつか紹介します。



一つ目は**ロープ結さく体験**です。ロープの結び方にも名前がついていて、「本結び」と「もやい結び」をしました。本結びは簡単でしたが、もやい結びは複雑です。難しくかったです。この結び方を使えば、誰かを助けるときに使えそうだなと思いました。また、学生の人たちが体に縄を巻いていたので、救助活動に使うのかなと思いました。

二つ目は**地震体験**です。家の中のようになっている地震発生装置で、震度7の地震を体験しました。すごくゆれていて、すごく危ないと感じました。立ってられないほどのゆれで驚きました。地震はいつくるかわからないので、家具を固定して対策をとっておくことが必要だと思いました。

三つ目は**煙道体験**です。火事で発生した煙の中を移動する体験です。煙の中はしゃがみながら、できるだけ煙を吸わないように口元にタオルをあてて進みました。煙があると前が見えなくなって、壁にぶつかってしまいました。火事の煙の中を避難するのはすごく大変だと思いました。

最後は**規律体験**です。敬礼のときの手のそえ方や「気をつけ」の姿勢のときのつま先の角度などを教えてもらいました。教えてくれた人の姿勢や動きがとてもきれいでした。

今回の体験を通して、災害の時にどんなことに気をつけたほうが良いのかがわかりました。また、消防隊員の人はとても難しい訓練をして、ぼくたちの生活を守ってくれていると思いました。

8月8日(火)に本町・南知多町の小学校5・6年生児童で結成している少年消防クラブ員の中から、代表の34名が愛知県消防学校の一入校体験に参加しました。普段入ることができない貴重な場所での体験にクラブ員のみんなは楽しそうに消防について学んでくれました。

入校体験をしたクラブ員の中から代表して奥田小学校の児童の体験作文を紹介します。